

業務部速報

No. 号外
発行 12. 08. 02

JR東労組 業務部

原因究明委員会を開催し、事故の連鎖を断ち切ろう
あわや大事故という事象が連続発生!

2012年7月10日 東北線自治医大～石橋駅間で警察官線路内立ち入り

2012年7月13日 高崎駅構内線路閉鎖工事区間に列車が進入

事象1

職場において、速やかに原因究明委員会を開催しよう!

◇東北線自治医大～石橋駅間警察官線路内立ち入り

事故概要

普電第545M列車は、時速80km/hで運転中、線路内に立入っている警察官を発見し、非常気笛吹鳴、非常ブレーキを扱い、防護無線を発報し停車した。

<問題点・原因>

- ◇現場責任者からの情報が現地に伝わっていなかった
- ◇警察と当社の意思疎通ができていたのか?
- ◇線路外に関する認識の違い(運転士:柵の外 警察:犬走り)

過去にも同種事故あり!
西日本でレスキュー隊が2次災害

事象2

◇高崎駅構内線路閉鎖工事区間に列車が進入

事故概要

高崎駅構内にて、線路閉鎖作業中(分岐器部分交換準備作業)に、167Mが35km/hで進入、線路内に作業員を認め線閉表示板の40m手前で停車した。

<問題点・原因>

- ◇廻しボンド取付の準備作業が追加になり、急遽第一間合いが追加になった。
- ◇名称を「上越線」で統一しており、信越線という名称があっても当該列車ということが判断できない。
- ◇営業と工務で略図の認識が異なっている。

あわや山貨事故の再来か!

<対策>

- ◇見張りダイヤ図に上越と信越のスジを被せて出力できたらわかりやすい。
- ◇仙台構内、水戸構内はブロック線閉をシステムで使用している。高崎駅でも活用できないか。

同種事故を起こさず、夏の繁忙期輸送を無事故で乗り切ろう!!